

○事業所名	みいんななかよし 本店			
○保護者評価実施期間	令和 7 年 2 月 10 日		～	令和 7 年 3 月 7 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15 名	(回答者数)	12 名
○従業者評価実施期間	令和 7 年 2 月 10 日		～	令和 7 年 3 月 7 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9 名	(回答者数)	9 名
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7 年 3 月 11 日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にを行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	少人数なので保護者様の声が聞こえやすく、風通しが良い。 保護者様の声に直ぐ対応できる環境を整えております。	連絡帳に療育中の出来事、児童の様子を必ず書き記してお伝えしております。更に伝え漏れのないよう送迎時に保護者様と対面し直接療育中の様子をお伝えします。丁寧に分かりやすく説明できるよう心がけております。	保護者様との交流を更に深めるため、フリーの保護者来所日を設けるなどフラットに意見交換できる場を拡充して参りたいと思います。
2	【自主性を大切に】の療育を行っております。	自分の意思で物事を決める、好きな事に集中できる環境作りを心がけております。できるだけ興味を持ってもらえるよう配慮しますが集団行動ができなくても無理に参加させたりしません。自己選択ができるよう見守りサポートしながら、自分の意思決定することの大切さを学べる環境作りを行っております。	【全ての事にはルールがある】自分で判断したもの全てが良い方に向かうわけでも、できるようになるわけでもありません。物事にはルールがあり、ルールの必要性を伝えその中で自分で決めた物事が進んでいく事を伝えます。個々の特性に合わせ沿った支援を行えるよう力を入れて参ります。
3	少人数なので個々に合わせた丁寧な支援ができます。 幅広い年齢のお友達がいるのでコミュニケーションの幅が広がります。	自分の思いを相手に伝える事はとても大切な意思表示です。しかし受け取る相手の気持ちも大切です。どうすればうまく伝わるのか？子供達のやりとりを見守りつつ、職員がアドバイスしヒントを与えるようにします。強制せず、自分達で解決できるよう自然なやり取りの中で学ぶことを大切にしております。	子供達同士のコミュニケーションを大切にし、職員間で意見交換を行います。より一人一人に寄り添った支援ができる環境作りを目指して参ります。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の方々や児童館などとの交流がない。	職員・保護者様から声が多かった地域との関わり合い。感染症の観点から不特定多数の方々との接触を遠慮がちになるあまり地域の方々、児童館等との交流が希薄になっていると思います。	感染症への懸念から不特定多数の方との接触は遠慮して欲しいというお声もいただきました。児童・保護者様が安心して交流できることは何か？また、まずは地域の方々に【みいんななかよし】のことを知ってもらう機会を設け、そこからお互いの意見を交わし交流に繋げられるようにして参りたいと思います。
2	内・外に関わらず研修機会が少ない。	パート職員が多く、なかなか時間調整が難しいのが課題。 現状、管理者・児発管が外部研修に参加しておりますが、全職員の研修参加機会を増やしていく事が大きな課題だと思います。	まずは内部研修の拡充。児発管・強度行動障害支援資格者など有資格者による内部研修を行う機会を設けて参ります。また、外部研修に参加する為には職員の増員、時間調整など人員配置に工夫が必要かと思っています。
3	保護者交流会・ペアレントトレーニングの機会がない。	感染症の観点から多くの方が接触する場を設ける事が難しく、なかなか保護者様と交流する機会を持てませんでした。また、交流会を企画し募集を募りましたがご参加に結び付くことができず開催に至りませんでした。交流会というハードルを高くしてしまったのと、事前アナウンスがきちんと出来ていなかったのが要因だと思います。	【交流会】というスタイルではなく、まずは月に数日・曜日や時間を設けた【フリースタイル】の場を作り保護者様にフラットにお越しいただく機会を設け、その中で職員との交流や保護者様同士の情報交換など行って参りたいと思います。段階的にペアレントトレーニングを組み込み定着化を目指して参りたいと思います。